

那須塩原電気工事業魅力発信研究会

将来の担い手確保へ

黒磯北中で出前講座開催

那須塩原電気工事業魅力発信研究会(蓮池智雄代表)は15日、那須塩原市立黒磯北中学校(益子泰志校長)で出前講座を開催。仕事説明やケーブルの皮むき体験などを通して、同校の2年生97人と工業系学科への進学を希望している3年生6人に電気工事業の魅力を伝えた。



蓮池代表

同研究会は今年度、那須塩原市内の電気工事店9社で設立。出前講座は、建設労働者の高齢化や今後の人材不足など、喫緊の課題解決に向けて、中学生に建設業や電気工事業の魅力発信し、将来の担い手を確保する目的で企画された。

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、同講座は感染予防対策を十分に施した上で行われた。冒頭で同校普通教室へのエアコン設置工事の様子をスライドで紹介した後、蓮池代表は「きょうは記念すべき第1回の出前講座となる。建設業や電気工事業は、皆さんの生活において切っても切り離せない仕事。説明や体験でその魅力が伝わり、少しでも興味を持ってもらえたら嬉しい」とあいさつし、一層の理解促進を願った。

講座の本編では、はじめに建設業の仕事に関する動画をスクリーンで放映し、多くの職人が力を

合わせて一つの仕事を完成させることが建設業の喜びであると強調。建設業や電気工事業の具体的な魅力としては▽地図や歴史、記憶に残る仕事であること▽スケールの大きなこと▽日々変化していくものづくりの楽しさ▽人々の暮らしや生活の一部となる仕事に誇りや責任感▽体を動かして仕事をす

る充実感▽建物等が完成した時、照明が初めてついた時の達成感などを挙げた。

続いて、電気工事業で働く女性を紹介する映像を流し、配線の美しさや地域貢献への高い意識などを生かすべく、女性が活躍するための労働環境改善が進んでいることにも言及。女子生徒に対して「積極的な入職を呼び掛けた」。

後半では、簡易的な電気発生装置を使用した「ヒリヒリマンニン体験」や、ストリップを使ったVVFケーブルの皮むき体験を実施。生徒



建設業の仕事説明(上)やケーブルの皮むき体験などを実施

は各種体験を楽しみながら、電気工事業に興味を持った様子だった。

蓮池代表は「電気工事業の仕事をしていく中で、悩むことも大変なこともあるが、それ以上に楽しいことがたくさんある。将来、皆さんが職業を選択する際、われわれの仲間になってくれることを願っている」と講座を締めくくり、生徒の代表は「昨年は新型コロナウイルス

は含種体験を楽しみながら、電気工事業に興味を持った様子だった。

蓮池代表は「電気工事業の仕事をしていく中で、悩むことも大変なこともあるが、それ以上に楽しいことがたくさんある。将来、皆さんが職業を選択する際、われわれの仲間になってくれることを願っている」と講座を締めくくり、生徒の代表は「昨年は新型コロナウイルス

は含種体験を楽しみながら、電気工事業に興味を持った様子だった。

蓮池代表は「電気工事業の仕事をしていく中で、悩むことも大変なこともあるが、それ以上に楽しいことがたくさんある。将来、皆さんが職業を選択する際、われわれの仲間になってくれることを願っている」と講座を締めくくり、生徒の代表は「昨年は新型コロナウイルス

- ▽日立工機(代表者:蓮池智雄)▽那須建設(代表者:佐藤一博)▽大同電設(代表者:渡辺将基)▽鈴木電機(代表者:鈴木大介)▽岩崎電設(代表者:人見勇)▽マテック三和(代表者:本多久雄)▽藤光電気工事(代表者:井上康広)▽前田電設(代表者:前田治夫)▽ユニテック(代表者:高根沢英司)

(敬称略)